

平成 4 年度

市内遺跡発掘調査報告書

1993. 3

前橋市教育委員会

序

群馬県前橋市は、関東平野の北西端に位置し、雄大な赤城山の南面に開け、坂東太郎として名高い利根川や詩情豊かな広瀬川が市街地を流れる、水と緑につつまれた県都で、全国的にも「美しく住みやすい都市」として高い評価を得てておりまます。

市の歴史は古く、古墳時代には、至るところに巨大な古墳群が造られるなど全国でも有数の古墳文化圏が形成され、そして律令時代には国府や国分寺が置かれるなど東国の中心地として繁栄し「東国の奈良」とも言われました。また近世においては、江戸幕府を守る要衝の地として「関東の華」と称され、さらに、近世末期から明治・大正時代にかけては、我が国の生糸貿易を支える養蚕製糸業の中心地として発展してきた歴史の薫り高い街でもあります。

市内には、こうした輝かしい歴史を物語るかのように、国指定史跡11件を始めとして史跡・文化財が数多くあり、また市域の広範囲にわたって埋蔵文化財が残されててあります。そして、近年本市においても各種開発の波が著しくなり、開発と文化財、特に開発に伴う埋蔵文化財の取り扱いが大いにクローズアップされててあります。

この報告書は、平成3年度・4年度に前橋市教育委員会が市内遺跡発掘調査事業として国庫補助を受け実施した、各種開発に伴う遺跡の範囲確認調査の成果をまとめたものであります。確認調査は市内25箇所に及びましたが、その結果、今まで不確定であった遺跡の分布状況が明らかになってまいり、大きな成果を上げることができました。

最後になりましたが、本事業を実施するに当たり、ご協力をいただきました関係各位に深く感謝するとともに、市民の皆様の文化財保護に対する一層のご理解を祈念申し上げます。

平成5年3月

前橋市教育委員会

教育長　岡本信正

例　　言

1. 本報告書は、平成4年度に埋蔵文化財の確認調査を実施した市内遺跡の概要をまとめたものである。
2. 本事業に係わる経費は、平成4年度文化財補助事業として、国庫補助、県費補助及び市費により計上されている。
3. 本報告書では、平成3年度の報告書に未収録の平成4年2～3月分と平成4年度の平成4年4月から平成5年1月末日までの25件の確認調査の概要を掲載する。平成5年2～3月分は平成5年度の報告書に掲載する。
4. 確認調査は前橋市教育委員会文化財保護課で行なった。

調査 井野誠一、新保一美、飯島勝亥

整理 井野誠一、新保一美、飯島勝亥

5. 発掘調査に係わる記録類、出土遺物等は前橋市教育委員会文化財保護課で保管している。

凡　　例

1. 確認調査地位置図の縮尺は1／1万である。
2. 写真図版の番号は、確認調査地Noと一致する。

目 次

例 言

凡 例

目 次

1. 確認調査地一覧表.....	1
2. 確認調査地位置図.....	2
3. 確認調査の概要.....	3
4. 結 語.....	16
写真図版.....	17

1. 確認調査地一覧表 (No17~27は平成3年度分)

[Noは申請順]

No	所在地	開発面積m ²	開発原因	調査日	調査概要
17	元総社町字屋敷3686-3	463.72	店舗	4・2・4	住居跡・井戸検出。保存。
18	宮地町48-1外	16,937	ゴルフ練習場	4・2・28	土師器・須恵器片。遺構なし。
19	西善町618-3外	1,596	配送施設	4・2・10	溝2条。その他の遺構・遺物なし。
20	西大室町地内	7,000	道路改良	4・2・12、13	遺構・遺物ともに検出されず。
21	古市町字七仏392-1	776	事務所	4・2・17	土師器片。遺構なし。
22	箱田町字古市前562-3	1,162	事務所	4・2・18	遺構・遺物ともに検出されず。
23	小神明町703-1	1,877	工場	4・3・3	土師器・須恵器片。遺構なし。
24	総社町總社大屋敷地内	1,170	道路築造	4・3・4	住居跡外。(大屋敷遺跡として平成4年度調査)
25	稻荷新田町地内	2,880	道路築造	4・3・6	遺物・遺構ともなし。
26	青梨子町1678	2,688	老人福祉施設	4・3・17	遺物なし。溝一条検出。
27	元総社町字屋敷2280-1外	320.65	個人専用住宅	4・3・24	遺物なし。旧用水路一部検出。
1	荻窪町206-2	317	個人専用住宅	4・4・2	遺物・遺構ともなし。
2	亀泉町字上泉境266-3外	1,135	ガソリンスタンド	4・5・11	削平・盛土。遺物・遺構ともなし。
3	総社町總社昌楽寺越村北 2429	545	野菜集荷所	4・5・15	削平・盛土。瓦片・土師器・須恵器片。遺構なし。
4	前箱田町字村西142-2外	1,934	宅地分譲	4・5・18	水田跡。保存。
5	下新田町字町頭61-3外	1,950	事務所	4・5・19	遺物・遺構ともになし。
6	総社町總社昌楽寺越掘南 2932-1	2,118.64	不動産売買	4・6・17	住居跡検出。保存。
7	総社町桜ヶ丘1156外	5,237.8	宅地造成	4・7・6	住居跡検出。(西久保遺跡として平成4年度調査)
8	総社町總社字給人城川 1386-2	197.90	個人専用住宅	4・8・11	近代の用水一条。埴輪片。
9	元総社町20街区3665-1	476.61	事務所	4・9・7	削平・盛土。土師・須恵器片。遺構なし。
10	上長磯町300-1外	6,450	事務所	4・10・19	遺物・遺構ともになし。
11	亀里町379-1外	1,289	不動産売買	4・12・10	水田跡。保存。
12	西大室町地内	642	園路造成	5・1・13	繩文土器片1点。遺構なし。
13	亀里町地内	1,500	道路築造	5・1・18	須恵器片1点。遺構なし。
14	西大室町地内	2,394	排水路整備	5・1・29	城の土堤が部分確認。(大室城遺跡として平成4年度調査)

2. 平成 4 年度調査地位置図 (17~27は 3 年度)



3. 確認調査の概要

平成3年度

17 元総社町字屋敷3686—3

463.72m² 店舗建設

平成4年2月4日

調査の状況

本調査地は、大友屋敷II・III遺跡に近接する位置にあたるが、大友屋敷II遺跡で検出され、本調査地に続くと考えられた溝は検出されなかった。

調査地の北西より住居跡（古墳時代）1棟と井戸跡1基が検出された。遺構の状況からみて、大友屋敷III遺跡と同一集落を形成するものと考えられる。

調査地は以前に削平と盛土を受けており、他に遺構は検出されなかった。

協議により、保存協議書を締結して現状保存となった。
(大友屋敷III遺跡)



位置図（1万分の1）

18 宮地町48—1外

16,937m² ゴルフ練習場

平成4年2月28日

調査の状況

開発予定地内で掘削工事の行なわれる予定の所の確認調査を実施した。

調査地の道北より、住居跡・井戸跡が検出されていたが（東田遺跡）、東田遺跡よりも低湿地にあたり、住居跡は検出されなかった。

また、水田跡については畦畔は検出されず、また地形が全体に南下りであり、土器片が若干と、土地改良以前の水路2条が検出されたのみであった。



位置図（1万分の1）

19 西善町618—3外

1,596m² 配送施設

平成4年2月10日

調査の状況

調査地は東側に古墳時代の住居跡を検出した遺跡に近接しており、その西側の範囲内と考えられた。

確認調査の結果、住居跡は検出されなかつた。また、水田跡についても確認を行なつたが、水田跡は検出されず、溝2条が検出されたのみであった。周辺には水田跡の可能性をもつ。



位置図（1万分の1）

20 西大室町地内

7,000m² 道路改良

平成4年2月12・13日

調査の状況

調査地は小丘陵にはさまれた谷地にあたり水田跡の存在が想定された土地であり、確認調査を実施した。

確認調査の結果、B軽石層が部分的に検出されたものの厚さ、状況もまちまちであり、B軽石層下の地層も変化の大きい状況であった。戦前は「しけ地」であったところを暗渠により開田した土地で、土地は良くないとの地元の話があった。遺構・遺物とともに検出されなかった。



位置図（1万分の1）

21 古市町字七仏392-1

776m² 事務所

平成4年2月17日

調査の状況

赤鳥遺跡の南東にあたり、その範囲確認の調査を実施した。

確認調査の結果、調査地は湿润な地であり、遺物も土師器一点で住居跡は確認されなかつた。また、水田跡についても確認調査を実施したが、遺構は検出されなかつた。

旧地形は傾斜をもつており、土質も水田には不適のものであつた。



位置図（1万分の1）

22 箱田町字古市前562-3

1,162m² 事務所

平成4年2月18日

調査の状況

調査地の西60mの滝川周辺で、平安時代の水田跡が検出されており（箱田古市前遺跡）、その範囲確認調査を実施した。

確認調査の結果、調査地は旧建物によりカランを受けており、また、旧地形が傾斜地であることから、水田跡の可能性は認められなかつた。遺物・遺構ともに検出されなかつた。



位置図（1万分の1）

23 小神明町703—1外

1,877m² 工場

平成4年3月3日

調査の状況

調査地の西側に接して、昭和60年度に弥生時代の住居跡が検出されている。(小神明IV遺跡) そこで、小神明IV遺跡の範囲確認調査を行なった。

確認調査の結果、調査地は全面が削平及び盛土による造成がなされていることが認められた。また、旧地形が谷地状であったことから水田跡についても確認を行なったが、土師器片・須恵器片数点の出土のみで、遺構は検出されなかった。



位置図（1万分の1）

24 総社町総社大屋敷地内

1,170m² 道路築造

平成4年3月4日

調査の状況

調査地は村東遺跡（昭和61年度調査）の南あたり、同一小丘陵上に位置している。地表にも縄文時代から平安時代にわたる遺物が散布している。

道路築造予定地で確認調査を実施したところ、住居跡2棟及び、土師器・須恵器・石器・縄文土器片が多数検出された。

本調査地は、平成4年度に大屋敷遺跡として調査が実施された。



位置図（1万分の1）

25 稲荷新田町地内

2,880m² 道路築造

平成4年3月6日

調査の状況

調査地一帯は、条里制に伴う水田跡が想定される地であり、隣接して前箱田遺跡及び新保田中村前遺跡が位置している。いずれもB軽石の水田跡であり、畦畔跡が比高差5cm程度で良好かつ固く締った状態で検出されている。

本調査地での確認調査の結果、B軽石層は確認されたが、トレンチにより状況はさまざまであり、軽石層下に畦畔と認められる地形の変化は確認されなかった。

工事施行に伴う立ち合いを実施した。



位置図（1万分の1）

26 青梨子町1678

2,688m² 老人福祉施設

平成4年3月17日

調査の状況

調査地は現状で水田であるが、隣接する畑地には若干の遺物の散布がみられたため、確認調査を実施した。

確認調査の結果、本調査地は昭和26～34年にかけて実施された県営土地改良事業実施時に削平及び造成された土地であることが確認された。遺物は灰釉陶器片1点のみであった。



位置図（1万分の1）

27 元総社町字屋敷2280—1外

320.65m² 個人専用住宅

平成4年3月24日

調査の状況

本調査地は文献資料による中世の蒼海成の堀にあたるとされており、北から東の境界にそって五千石用水（近世）が通っている。

確認調査の結果、現地表下50cmで水平に堆積する自然堆積の土層が認められ、地表下150cmに達するまでF A層を含む同様の土層であった。

蒼海城の堀に係わる遺構・遺物は検出されなかった。現状が、南北に長い地割り内に位置するが、この地割りの性格を明らかにする資料は確認されなかった。



位置図 (1万分の1)

平成4年度

1 荻窪町206—2

317m² 個人専用住宅

平成4年4月22日

調査の状況

本調査地は、文献資料による荻窪^{とぎ}の堀にあたるとされた地であり、堀の確認調査を実施した。

確認調査の結果、本調査地は遠の堀の西の肩部分にあたる場所であり、堀は東側に位置することが判明した。

さらに、本調査地は旧山林であったが、その抜開時に掘削、盛土が行なわれていることが認められた。



位置図 (1万分の1)

2 龜泉町字上泉境266—3外

1,135m² ガソリンスタンド

平成4年5月11日

調査の状況

本調査地は、埋蔵文化財包蔵地に含まれるため、遺跡の状況・範囲について確認調査を行なった。

確認調査の結果、遺構面は以前の工事でカクランを受けており、その上に盛土がなされていることが認められた。

遺構及び遺物は検出されなかった。



位置図（1万分の1）

3 総社町總社昌楽寺廻村北2429

545m² 野菜集荷所

平成4年5月15日

調査の状況

本調査地は山王廃寺寺域内にあたり、塔心礎の北約60mに位置する。調査前には共同養蚕飼育所が建てられており、その跡地にあたる。

確認調査の結果、飼育所の地下室の工事によるカクランのため、山王廃寺に係わる遺構は確認されなかった。埋土中より、瓦片・土師器片・須恵器片が出土している。



位置図（1万分の1）

4 前箱田町字村西142—2外

1,934m² 宅地分譲

平成4年5月18日

調査の状況

本調査地は、東地区全域に広がる条里水田域に含まれるため、範囲・状況の確認調査を行なった。

確認調査の結果、調査地の北半より平安時代の水田跡が検出された。南半はカクランを受けていた。

調査地の北半にあたる142—2番地については遺跡が確認されたため、事業者と協議を行ない、保存することで協議書を締結した。

(村西遺跡)



位置図（1万分の1）

5 下新田町字町頭61—3外

1,950m² 事務所

平成4年5月19日

調査の状況

本調査地は、東地区全体に広がる条里水田域にあたり、範囲確認調査を行なった。

確認調査の結果、旧地形が湿润の地であり水性植物の繁茂する地であったことが認められたが、水田土壌、畦畔等の遺構は認められなかった。遺物も認められなかった。



位置図（1万分の1）

6 総社町総社昌楽寺廻堀南2932—1

2,118.64m² 不動産売買

平成4年6月17日

調査の状況

本調査地は、昌楽寺廻^{めぐらわ}向^{むか}遺跡（昭和63年度調査）に隣接しており、その範囲確認調査が実施された。

確認調査の結果、調査地の北西部より住居跡が検出された。（奈良～平安時代）東側は旧養鯉池であったとのことで掘削されており、住居跡は確認されなかった。

本遺跡（堀南遺跡）については、事業者と協議を行ない、保存の協議書を締結した。



位置図（1万分の1）

7 総社町桜ヶ丘1156外

5,237.8m² 宅地造成

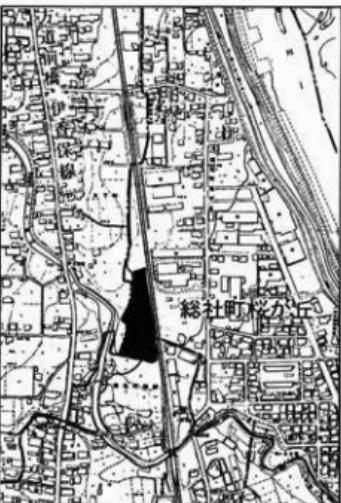
平成4年7月6日

調査の状況

本調査地は、表面調査を実施したところ、縄文～奈良・平安時代の土器片が多量に散布しており、埋蔵文化財の包蔵地であると認められたため範囲確認調査を実施した。

確認調査の結果、調査地の南半より住居跡群（平安時代）が検出された。

協議の結果、本遺跡（西久保遺跡）は平成4年度に調査が実施された。



位置図（1万分の1）

8 総社町総社字給人城川1386-2

197.90m² 個人専用住宅

平成4年8月11日

調査の状況

本調査地は遠見山古墳の東側にあたり、遠見山古墳の周堀内に位置すると想定された。

確認調査の結果、溝一条が検出されたが、形状・土層（F A層を含まない）から判断して、3年度調査の城川I・II遺跡で確認された近世～近代に使用されていた用水に続くものと認められた。3年度で調査された遠見山古墳周堀は確認されなかった。用水造成時に改変をうけたと思われる。



位置図（1万分の1）

9 元総社町20街区3665-1

476.61m² 事務所

平成4年9月7日

調査の状況

本調査地は、大友屋敷II・III遺跡に隣接しており、その範囲確認調査を実施した。

確認調査の結果、調査地は以前に削平及び盛土がなされていることが確認された。削平は遺構面に達しており、遺物（土師器・須恵器）は検出されたものの、遺構は検出されなかった。



位置図（1万分の1）

10 上長磯町300—1外

6,450m² 事務所

平成4年10月19日

調査の状況

本調査地は、野中天神遺跡（平成2年度調査）に隣接しており、範囲確認調査を実施した。

確認調査の結果、土師器片数点が検出されたのみで、遺構は検出されなかった。

調査結果よりみると、本調査地は桃木川の氾濫原に含まれるものと思われる。



位置図（1万分の1）

11 亀里町379—1外

1,289m² 不動産売買

平成4年12月10日

調査の状況

本調査地は、一带に広がる条里水田地帯に含まれる。公田池尻遺跡（平成2年度調査）に近接しており、範囲確認調査を実施した。

確認調査の結果、調査地の南側より水田跡と水路が検出された。

水田跡の確認された地点については、事業者と協議を行ない、保存を行なうことで保存協議書を締結した。



位置図（1万分の1）

12 西大室町地内

642m² 園路造成

平成5年1月13日

調査の状況

調査地は造成中の大室公園内にあたり、後二子古墳西側の、西へのゆるい傾斜地にあたる。若干の遺物の散布がみられ、古墳に隣接した地区であるため確認調査を実施した。

調査の結果、縄文土器片一点を検出したのみで、遺構は検出されなかった。

現状は畠地であるが、以前は山林であったとのことで、山林を開くときに削平を受けていると認められ、若干の表土・耕作土層の下はローム層になっていた。



位置図（1万分の1）

13 亀里町地内

1,500m² 道路造成

平成5年1月18日

調査の状況

調査地は前橋市南部に広がる水田地帯に位置し、古代からの水田地帯と考えられている。周辺でも公田池尻遺跡等の水田跡が調査されている。

確認調査の結果、平安水田の指標となるB軽石層は西側一部の検出にとどまり、また畦畔等の遺構は検出されなかった。さらに下層のニッケ系軽石、C軽石層も確認調査を実施したが、遺構は検出されなかった。

須恵器片一点が検出されている。



位置図（1万分の1）

14 西大室町地内

2,394m² 排水路整備

平成5年1月29日

調査の状況

調査地は大室神社内（旧大室城跡）にあたり、掘跡と想定される土地である。流水等によりかなり旧状よりも変化していると考えられたが、大室堀には不明の点が多く確認調査を実施した。

確認調査の結果、北側中央部に旧土堤と考えられる遺構が検出された。南側及び、北側の東端及び西端は崩落により旧状が失なわれていた。

検出された遺構については、事業者と協議を行ない調査を平成4年度に実施した。（大室城遺跡）



位置図（1万分の1）

4. 結語

本報告書では、平成3年度の平成4年2月1日より3月31日と、平成4年度の平成4年4月1日から平成5年1月31日の間に、埋蔵文化財確認調査が実施されたものについて収録してある。

今年度確認調査が多く実施された地区は前橋市西部の総社・東地区である。この地区は国府・国分寺があり、住居跡をはじめとして、水田跡も多く検出され、発掘調査に至った事例も多い。小規模な開発であっても事前の確認調査が必要になる場合が多くみられる。

今回確認調査が行なわれた地点でも、総社町大屋敷では大屋敷遺跡として調査が実施され、元総社町、総社町では住居跡が検出されたが、協議により保存することとなった。また前箱田町では水田跡が検出されたが、協議により保存することとなった。

次いで確認調査が多くみられたのが、市南部である。一面に水田が開けている地であるが、古代よりの水田地帯と考えられる地であり、近年水田跡の調査が多く実施されている。

現在は一面の平坦な地であるが、古代には変化に富む地であり、河川があり、集落・水田がみられたようである。昭和40年代の土地改良事業施行時に削平を受けた場所も見られるが、亀里町での確認調査の例にみられるような平安時代の水田跡が検出され、保存された地もある。

周辺は今後大規模な開発が予想される地であり、新たな発見が多く予想される。

前橋市東部、北部での確認調査は比較的少なかった。旧利根川左岸の赤城山南麓は古代からの遺跡の多い地であり、調査例も多い。今年度は大室城堀跡について確認調査が実施され、調査を実施した。

開発に係わる埋蔵文化財の取り扱いについては、以前は理解がなかなか得られないこともあり確認調査及び本調査への協議に時間を要する例も少なからずみられた。

近年は、普及用パンフレットを配布等の結果、事前に相談にくる事例が増えている。公共事業に伴う調査でも、前年度末に確認調査を実施し、本調査についての協議を行なうのがこの数年の例となってきており、事業実施直前になっての調査協議は減少してきている。

本報告書が、今後の埋蔵文化財の保護・保存ならびに、理解を深めるものになれば幸いである。

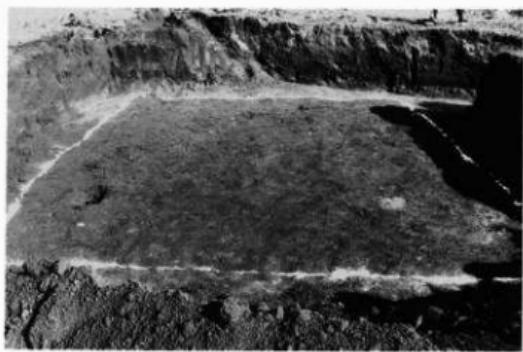
写真図版



⑧前橋市 宮地町



⑨前橋市 西善町



⑩前橋市 元総社町



②前橋市 古市町



③前橋市 箱田町



④前橋市 西大室町



◎前橋市 小神明町



◎前橋市 総社町



◎前橋市 稲荷新田町



◎前橋市 青梨子町



◎前橋市 元経社町



①前橋市 萩塙町



④前橋市 前箱田町



⑤前橋市 下新田町



⑦前橋市 総社町



⑧前橋市 総社町



⑨前橋市 総社町



⑩前橋市 上長瀬町



⑪前橋市 亀里町



⑫前橋市 元総社町



①前橋市 龜里町



②前橋市 西大室町



③前橋市 西大室町

平成4年度 市内遺跡発掘調査報告書

平成5年3月20日印刷

平成5年3月30日発行

発 行 前橋市教育委員会文化財保護課

前橋市上泉町664-4

印 刷 上 每 印 刷 工 業 株 式 会 社

前橋市天川大島町305-1